



こと言の葉 kotonoha

築館高等学校 図書館だより
発行: 令和5年4月17日
文責: 司書 佐藤

令和5年度が始まりました。今年度も築館高校図書館をよろしくお願ひします！ 2・3年生の皆さんは昨年度どれだけ本を読みましたか？ 新入生の皆さんも高校の図書館は小学校や中学校とは違うと思いますので、ぜひ、足を運んでみてください。築高生のみなさん、図書館でお待ちしています！

2023年 本屋大賞決定！

作品は図書館前ホールに並んでいるよ♪ 読んでみてね。



本屋大賞は、過去1年間に書店員自身が読んで、「面白かった」「お客様に薦めたい」「自分のお店でも売りたい」と思った本に投票して決まります。

2023年本屋大賞は、4月12日に発表されました！ノミネートされていた10作品の順位は下記のとおりです。気になる作品をぜひ読んでみてください。

【大賞】 汝，星のごとく

- 2位 ラブカは静かに弓を持つ
- 3位 光のところにいてね
- 4位 爆弾
- 5位 月の立つ林で
- 6位 君のクイズ
- 7位 方舟
- 8位 宙ごはん
- 9位 川のほとりに立つ者は
- 10位 #真相をお話しします

凧良 ゆう

- 安壇 美緒
- 一穂 ミチ
- 呉 勝浩
- 青山 美智子
- 小川 哲
- 夕木 春央
- 町田 そのこ
- 寺地 はるな
- 結城 真一郎



「汝，星のごとく」

風光明媚な瀬戸内の島に育った高校生の暁海(あきみ)と、自由奔放な母の恋愛に振り回され島に転校してきた權(かい)。ともに心に孤独と欠落を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、そして成長していく。生きることの自由さと不自由さを描き続けてきた著者が紡ぐ、ひとつではない愛の物語。

★大賞を受賞した凧良さんは「流浪の月」でも本屋大賞を受賞しており、映画化もされています。図書館前ホールに今までの本屋大賞受賞作のスタンプラリーを置きました。今までの作品もチャレンジしてみてください。



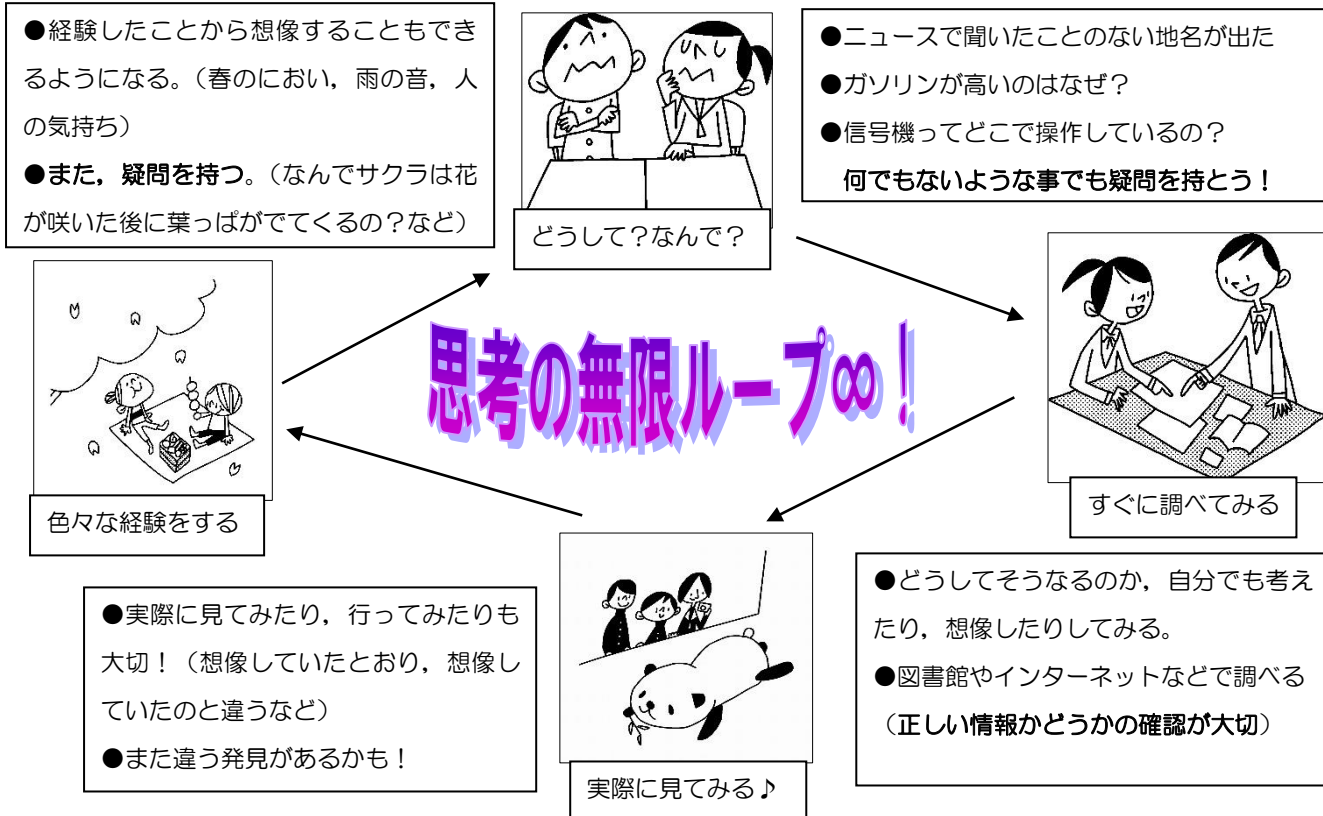
★話題本紹介★



「荒地の家族」 佐藤厚志 著 新潮社 刊 2023年発行
今年1月に発表された芥川賞。受賞したのは仙台市出身、東北学院大学卒業、丸善仙台アエル店の書店員、佐藤厚志さんの「荒地の家族」でした。この作品は東日本大震災で仕事道具を失い、2年後には妻を病気で亡くした、巨理町に住む40歳、植木職人の男性が主人公です。喪失感を抱えながら生活を立て直そうともがく姿が描かれています。受賞の様子はニュースでも大きく取り上げられました。手に取ってみてください。

どうして？ なぜ？ という気持ちを大切に♪

皆さんは、日々、「どうして？ なぜ？」と疑問を持っていますか？ そう感じた時にすぐに調べていますか？ すぐに使う知識や情報ではないかもしれませんが、疑問を持ち、調べたり、想像したり、実際に経験することはとても大切だと思います。学校生活でも「どうして？ なぜ？」を大切にしてください。



* 図書館の利用について *

~2・3年生も、もう一度確認してください~

【開館時間】 8時50分~17時まで

※図書館入り口のシャッターが開いていれば開館しています

【閉館日】 学校休業日(土曜・日曜・祝日) ※長期休業中は別にお知らせします

進路関係や検定などの本もあります。雑誌も借りられます♪

【図書の貸出・返却】

- ① 貸出冊数・期間 5冊(長期休業中は10冊)まで2週間
- ② 貸出方法 借りたい本を持って司書室へ行き、学籍番号を伝えて手続きをする。司書不在の時は司書室前のカウンターで貸出簿に記入して借りる。
- ③ 返却方法 図書館棟入り口の返却ポスト(赤色・スヌーピーが乗っています)に入れる。または司書に直接渡してください。

たくさんのご利用をお待ちしています

